

無量谷 稔、竹山幸雄、内田喜久男の各氏が宇都宮賞を受賞

宇都宮仙太郎翁顕彰会（北良治理事長）は1月8日、札幌で理事会・評議員会を開き、第48回宇都宮賞受賞者を決めた。

酪農経営の部は宗谷管内幌延町の酪農家・無量谷稔氏（59）、酪農指導の部は元北海道家畜人工授精師協会会長の竹山幸雄氏（61）、乳牛改良の部は宗谷管内枝幸町の酪農家・内田喜久男氏（56）がそれぞれ選ばれた。無量谷氏は地域のモデルとなった草地の整備・更新と生涯生産性を重視した独自の牛づくりの取り組

んだ成果、竹山氏は組合員の経営の安定・向上のために高能力種雄牛の選定や受胎率の改善と向上に努めた功績、内田氏は能力および体型の遺伝的改良に地域の仲間と共に取り組んで宗谷酪農の振興に貢献したことがそれぞれ高く評価された。

同賞は、北海道酪農の父・故宇都宮仙太郎翁の業績を顕彰するとともに、北海道酪農の振興・発展に寄与した関係者を表彰するもので、表彰式は翁の命日に当たる3月1日、札幌パークホテルで行われる。

2015年酪農乳業界重大ニュース、トップは「TPP合意」

酪農乳業の専門紙9社で構成する酪農乳業研究会は2015年12月14日までに、2015年酪農乳業界重大ニュースを選定した。酪農乳業界最大の関心事だった環太平洋経済連携協定（TPP）交渉は昨年10月に大筋合意した。日本は今後、過去に経験したことのない高い次元の自由化時代を迎える。乳製品関係は関税の削減、撤廃品目が多く、酪農現場に大きな不安と動揺が広がっている。これが、重大ニュースのトップになった。重大ニュースは下記のとおり。

①TPP交渉大筋合意②上期生乳生産3年ぶり増産、乳価引き上げ後押し③乳業大手3社、上期収益改善進む④バター安定供給へ官民一丸の対応⑤乳製品向け生乳の「試行的入札取引」実施へ⑥ヨーグルト、チーズ、アイスクリーム各分野好調⑦インバウンド（訪日客）需要、乳製品へ波及⑧機能性表示食品制度、ヨーグルトなどで表示許可⑨2025年度目標の新たな酪肉近代化基本方針策定⑩三条市学乳問題、給食時間外の飲用で決着。

甘草抽出物100%飼料 「甘草」(KANZOU)

ファブリック大西（福岡県大刀洗町）はこのほど、甘草抽出物100%飼料「甘草」(KANZOU)を新発売した。甘草は東アジアが原産のマメ科植物の根で、人医療では肝臓機能の改善効果があるグリチルリチン酸を主成分とした薬草として知られている。酪農学園大学の乳牛への給与試験では血液BHBA濃度、血清GOT活性値、血清NEFA濃度の低下が認められ、潜在性ケトosisに陥ることなく、周産期における肝臓機能が健康に維持されることが確認された。

問い合わせ先 (株)ファブリック大西
TEL 0942-77-3870/FAX 0942-77-3839



甘草抽出物100%飼料
「甘草」(KANZOU)

「北海道家畜アミノ酸研究会」第3回研修会 開催のご案内

- 日 時：2016年2月28日（日曜日）13:00～16:00（12:45開場予定） ●場 所：秋田キャッスルホテル4F「矢留の間」
- 参加費：無料（事前登録は不要ですが、学術集会への参加登録が必要です）
- プログラム：シンポジウム「アミノ酸を理解して使う」 座長：鈴木一由（酪農学園大学）
 講演Ⅰ：「アミノ酸の生理学的活性を理解するー各種アミノ酸の相互作用ー」 日本動物特殊診断株 井上博紀
 講演Ⅱ：「アミノ酸の利用法を理解するーアミノ酸栄養から製剤までー」 味の素株 春野篤
 事例報告：「黒毛和種肥育牛へのL-アルギニン給与事例」 座長：芝野健一（帯広畜産大学）
 松田敬一（NOSA I宮城）
- 総合討論 ●2月28日18時から会場近辺で「情報交換会」を開催する予定です（会費制）
 *研修会に関する問い合わせは、事務局（酪農学園大学 鈴木一由/TEL:011-388-4702）まで

問い合わせ先：あすかアニマルヘルス（担当：岡田） TEL:03-5909-0450/E-mail:AAH-info@aska-animal.co.jp